

第10講 WAZAJAZA問題

1. WAZAJAZA問題（勝手な名付けです）とは何か

1) 事件の概要

2015年4月、JAZAがWAZAから会員資格を停止され、イルカ飼育個体を追い込み漁から確保することを止めなければ1月後に除名すると通告を受け、日本の動物園水族館界を震撼させた事件。JAZAはWAZAの通告を受入れたが、水族館の一部はJAZAを脱退して新たな団体「日本鯨類研究協議会」

（現・日本水族館協会）を作りイルカの野生個体の導入を続けることを選択した。

JAZA除名の決定について国内メディアは5月の連休明けまで報道せず（海外では4月中に報道あり）、大手メディアによる報道は5月9日になって一斉に開始された。さらに水族館でのイルカ飼育の是非を問う話が、太地のイルカ漁とリンクして理解され、白人による日本の捕鯨文化の否定と受け取る言説や、感情論や「いじめ」みたいとする記事が現れ、問題の本質である動物の福祉や動物園水族館の

存在意義の議論はなおざりにされた。JAZAも問題の存在を大型連休が明けるまで言明せず、この問題に対する公式見解が公表されたのは3年半たった2018年10月のことであった。

2) 背景と広がり

イルカの飼育禁止を求める意見は英語圏を中心に白人世界では支持を集めている。動物園や水族館の飼育動物は館園での繁殖個体に限定すべきという意見もある。じつはWAZAに対してイルカ飼育や個体の供給源が太地の追い込み漁であることを問題視するように働きかけたのは日本の動物愛護団体であった。働きかけは何年にも及び、2015年4月の決定は彼らにしてみれば勝利宣言であった。WAZAで2006年1月にイルカ追い込み漁を問題視する手紙を加盟館園に送付しているが、この文面では日本の水族館の事情にも配慮した様子が見える。

WAZAJAZA問題ネット情報の時系列的まとめ2 <http://nodaiweb.university.jp/muse/text/WAZAJAZA2.pdf>

2023版として [gairon2023_10-3.pdf](#)


3) 結論

JAZAの選択はWAZAに留まることであった。それは追い込み漁由来のイルカの飼育を継続する館園は、JAZAから出て行くことを意味した。日本の動物園と水族館はJAZAの場で統合されていたが、飼育動物の捕獲や飼育許可での監督省庁が動物園は環境省、水族館は水産庁と異なり、国際的な動物園業界のなかで繁殖個体の貸し借りがある動物園と、日本沿岸から野生個体を捕獲して飼育個体としてきた両者の間で利害が異なる部分があった。それでも何とか一緒にやってきたのであるが、WAZAJAZA問題が分裂の動きを促した面がある。

[gairon2023_10-2.pdf](#)

水族館のイルカ入手法「NO」…世界協会が警告

2015年05月09日 07時38分 ツイート 8+1 3



和歌山県太地町で行われている追い込み漁（2010年11月撮影）

イルカ追い込み漁を巡る最近の主な動き

- 2009年 追い込み漁を隠し撮りしたドキュメンタリー映画「ザ・コーヴ」が米国で上映され、批判が強まる
- 10年 反捕鯨団体「シー・シェパード」のメンバーが和歌山県太地町に滞在して漁に抗議
- 14年 追い込み漁を巡って世界動物園水族館協会の幹部が来日し、日本動物園水族館協会と協議
- 9月 日本動物園水族館協会の要請を受け、太地町の漁協が、水族館向けの漁の方法を変更。必要数を捕獲したら残りは湾外に逃がすように
- 15年 追い込み漁によるイルカ誘捕が倫理規定に反するとして、世界動物園水族館協会が、日本動物園水族館協会の会員資格を停止

国内153の動物園や水族館などで構成する公益社団法人「日本動物園水族館協会」（JAZA、東京都）が、スイスに本部を置く「世界動物園水族館協会」（WAZA）から、会員資格を停止されたことがわかった。

国内の水族館が、和歌山県太地町の追い込み漁で捕獲したイルカを購入していることが理由とされ、改善されなければ今月中に除名になるとの通告を受けたという。

国内の水族館の多くはイルカの供給を同町に頼っており、集客力の高いイルカが確保できなくなることから、「WAZAの通告は納得できない」とする意見が強い。一方、WAZAのネットワークを使って海外の動物園と希少種などをやり取りしている動物園側は、「動物の入手に支障が出る恐れがある」として、除名は避けるべきだと考えだ。両者の溝は埋まっておらず、JAZAは近く、加盟する全施設の意向を確認したうえで、最終判断する。

2015年05月09日 07時38分 Copyright © The Yomiuri Shimburn

国内第一報読売新聞（YOMIURI ONLINE）2015-5-9

2. イルカ漁と飼育への非難

1) イルカの飼育禁止を求める人たち

イルカ飼育の禁止を求める動きは英語圏を中心に20世紀末からあり、21世紀になって各国で実現してきている。とりわけシャチの飼育への風当たりが強い。飼育個体の海への放獣が実際におこなわれている。

Free Willy (フリーウィリー) 1993年公開アメリカ映画 <https://ja.wikipedia.org/wiki/フリー・ウィリー>

日本語URLがリンク先に飛ばない場合はコピペする

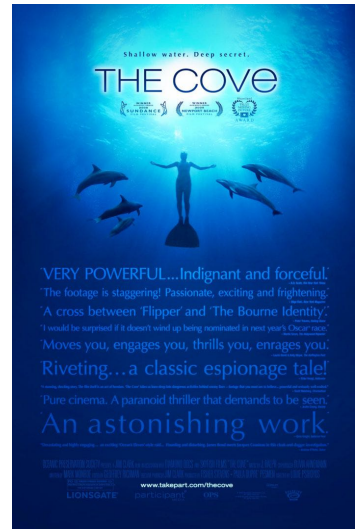
Keiko (ケイコ) ウィリー役のシャチで野生復帰された個体 [https://ja.wikipedia.org/wiki/ケイコ_\(シャチ\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/ケイコ_(シャチ))

2) 映画「The Cove」2009年公開 <https://ja.wikipedia.org/wiki/ザ・コーヴ>

白人活動家がイルカ追い込み漁をおこなう和歌山県太地町に乗り込み撮影したドキュメンタリー。自分たちは正義の味方、太地の漁民は悪魔というわかりやすい構図で映像もおもしろく、白人のアジア人蔑視エンターテインメントとして成功している。映画の本質は、イルカの飼育の廃絶であり、太地は世界の飼育個体の供給源であり、元から絶つことを目指したもの。2009年アカデミー賞長編ドキュメンタリー映画賞受賞作品 本編 (1:32:19) <https://www.youtube.com/watch?v=qtSKhQWE4JI>

予告編 Official Trailer <https://www.youtube.com/watch?v=jHaLJOYqvUQ>

日本語字幕付き <https://www.youtube.com/watch?v=mFIDRfBbV48>



3) 映画「Black Fish」2013年公開 [https://ja.wikipedia.org/wiki/ブラックフィッシュ_\(映画\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/ブラックフィッシュ_(映画))

「コーヴ」は日本を標的にした映画であったが、

「Blackfish」はアメリカ国内の水族館を問題視した作品。標的はフロリダのシーワールドで、劣悪な飼育歴の結果、オスのシャチが精神異常に陥りトレーナーを殺害したというもの。事故への対応も批判している。この映画の後にシーワールドではカリフォルニア州サンディエゴも含めて入園者数の減少と株価の下落に見舞われ、シャチの繁殖とショーを断念することになった。



クジラやイルカの捕獲や飼育の反対は日英語圏を中心に白人世界に広く共有されている思想であり、活動の対象は日本に限らないことがわかる。なお英語で black fish は普通前身ほぼ黒一色のゴンドウクジラ類に用いる。

予告編 Official Trailer https://www.youtube.com/watch?v=w2vG_lfu4zg

上: The Cove ポスター
<https://www.opsociety.org/our-work/films/the-cove/>

下: Blackfish 公式サイト
<https://www.blackfishmovie.com/film#about>

3. 現在進行形の影響

1) 日本水族館協会の設立

WAZAJAZA問題を受けてJAZAから脱退した水族館は日本鯨類研究協議会を設立、その後は加入館が増加、2019年11月に一般社団法人日本水族館協会として法人化された。情報公開も進み、2021年まではウェブサイトではプレスリリースとトップページ (<https://www.j-aqua.org>) のみの公開であったが、現在は改善されている。日本水族館協会の設立は、これまで何とか一緒にやってきた国内の動物園と水族館が2つに分裂する動き決定づけるかも知れない。現在48館が正会員として加盟。動物園と見なせる館園はない。

「一般社団法人日本水族館協会」設立のお知らせ <https://www.j-aqua.org/JAA-PR20200131.pdf>

4 水族館がJAZAを脱会 背景に国際圧力に屈しない“姿勢”とイルカ入手体系“確立” 産経WEST 2017-4-3

<http://www.sankei.com/west/news/170403/wst1704030007-n1.html>

「イルカ追い込み漁」禁止に反発、新たに1施設がJAZA退会、6施設目に 産経WEST 2018-4-4

<https://www.sankei.com/west/news/180404/wst1804040056-n1.html>

日本水族館協会が3月活動開始 イルカ漁容認で昨年発足 - 産経ニュース 2020-1-31

<https://www.sankei.com/life/news/200131/lif2001310083-n1.html>

2) イルカショーを考える

「イルカショーの可能性と未来」2017-2-24京都大学野生動物研究センター

<http://www.wildlife-science.org/img/news/561/2017-aquarium-abstracts.pdf> 6.5MB [gairon2023_10-6.pdf](#)

シャチショー廃止へ、米国で過熱する飼育批判 <http://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/15/111200320/>

Vancouver Aquarium will no longer keep whales, dolphins in captivity [もうシロイルカは飼わない]

<http://www.cbc.ca/news/canada/british-columbia/vancouver-aquarium-will-no-longer-keep-whales-dolphins-in-captivity-1.4492316>

日本動物園水族館協会の声明 [3件掲載] <https://www.jaza.jp/statement>

イルカ類に対する(公社)日本動物園水族館協会の取り組みについて 2018-10-1

しながわ水族館 リニューアルでイルカショーやめます 理由は? | NHK

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/newsup/20220523c.html>

【桂浜水族館スタッフ】ショータイムやあ〜めた!! ~館長~桂浜水族館スタッフブログ

<https://katurahama-aq.jp/blog/staff/2022/06/11/11691>

4. ラッコがいなくなる「動物園クライシス」

1) ラッコ飼育個体の減少

動物園水族館から消えゆく動物にラッコがいる。累代飼育の困難さがわかる。

始まりは伊豆・三津シーパラダイス(1983)→最高時122頭(1994)→10施設14頭(2016)→7施設11頭(2017)→6施設8頭(2019)→3施設4頭(2021)→3施設3頭(2022)

ラッコが消える? 日本にわずか3頭、繁殖も輸入もできない…野生の群れ発見も保護までの道のり長く【福岡発】 2022-6-6 <https://www.fnn.jp/articles/-/367322>

ラッコが日本で4頭だけに…「水族館の人気者」が日本で「絶滅寸前」| Smart FLASH/スマフラ[光文社週刊誌]

<https://smart-flash.jp/sociopolitics/142346>

消える水族館のラッコ 日本経済新聞 2016-3-2 <http://www.nikkei.com/article/DGXLZO97926660S6A300C1000000/>

水族館からラッコいなくなる? 国内に3頭…「今のうちに」来場殺到:朝日新聞デジタル 2023-4-25

<https://digital.asahi.com/articles/ASR4T4S9ZR41TIPE00B.html>

2) 累代飼育の課題

ラッコに限らず野生の哺乳類の飼育は次のような課題がある。ラッコはそれが顕著

繁殖の難しさ、交尾、出産、子育て(技術)

繁殖用プールの確保といった施設設備の不足(面積、資金)

累代飼育がほんとうに良いのか? 個体に幸せか、本来の姿を保てるのか(動物福祉)

3) 野生個体の補充困難の原因

各国の国内法での保護制度。

日本ではラッコはオットセイとともに明治時代から法律では水産資源とされ水産庁が主管である。現在も1912(明治45)年に施行された臘虎膾肭獸獵獲取締法[らっこおっとせいりょうかくとりしまりほう]によって捕獲や製品製造、販売、所持が禁止されている。 <https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=145AC0000000021>

アメリカでは1972年に施行された海生哺乳類保護法 (Marine Mammal Protection Act : MMPA)

国際取引の制限 (CITES サイトス、和名：ワシントン条約)

法によらない保護団体の圧力

新興国に買い負ける金銭的問題

4) 動物園クライシス [crisis 危機]

動物園クライシス～NHKクロズアップ現代 (2014)

<http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/3507/index.html>

フルテキスト (削除済み) [gairon2023_10-4.pdf](#)

水族館からイルカが消える!?～NHKクロズアップ現代+

(2015) <http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/3666/index.html>

フルテキスト (削除済み) [gairon2023_10-5.pdf](#)

5) 他種に拡大する関連した動き

次ぎはゾウか? サーカスでの動物利用を禁止・制限

する国々 <http://www.arcj.org/animals/circus/00/id=361>

米有名サーカス団、経営難で廃業へゾウの曲芸中止響

く CNN-J 2017-1-16

<https://www.cnn.co.jp/showbiz/35095029.html>

霊長類の解放 京都大学野生動物研究センター熊本サ

ンクチュアリ <https://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/kumasan/>

5. イルカの飼育の将来、大型の群れで生活する哺乳

類 (ゾウ、キリン、ライオンなど) も同様

- 1) やめる 飼育個体から動物や自然に関心を持つルートの遮断、飼育下で可能な学術研究の停止
- 2) 保護収容に限る 偶発的な個体収容のために施設や設備を保持し続け、スタッフを訓練する困難さ
- 3) 累代飼育 閉鎖環境で生まれ一生を終えることは倫理的か、野生を知らない個体の展示の意味は
- 4) イルカ牧場 餌付けが行動変容や進化に影響を与えると問題視されるなか例外とできるのか

野生個体を飼育はせずに餌付けや遊び場によって至近距離からの観察やふれあいを提供する仕組み

JAZAを退会した水族館で思うこと (到津の森公園園長) <https://www.itozu-zoo.jp/blogs/encho/2017/04/7822.php>

【レポート 5】

課題: WAZAJAZA問題あるいはラッコ飼育個体の減少や動物園の危機、動物園水族館の存在意義について思うところを書いて下さい。批評、感想、論述、批判なんでもよいです。長文の場合、エディタやワープロ (ワード) で書いてからメールに貼り付ける方が楽かも知れません。

提出方法: 農大メールの本文として提出する。件名: 博物館概論レポート 5 [5は全角]

本文: 1行目: 学科、学籍番号 [半角]、氏名 (よみがな)。区切りは全角スペースか全角ピリオド推奨

2行目: タイトル、3行目: 内容は3行目から始める。文字数2000字まで

提出期限: 7月10日 (月) 遅れた場合は受け取りません。

動物園クライシス
～ゾウやキリンが消えていく～

視聴率 10.5%

動物園から人気者が消える日が、現実になるかもしれない。全国の動物園で高齢化が進行し、ここ10年、国内のアフリカゾウは4割減少。ゴリラは5割、キリンも3割減った。海外から新しく買おうとしても、野生動物の取引が制限されたことや、海外での動物園建設ラッシュなどで価格が高騰。国内で繁殖させようとしても、動物園同士の協力体制が整っておらず、なかなか実現できていない。同じ問題に直面するアメリカでは、トップダウンの強力な組織が、科学的基準に基づいて動物の移動を推し進めることで、繁殖を進めている。岐路に立つ日本の動物園が、将来どうあるべきか探る。

出演者
山本 茂行 さん
(日本動物園水族館協会 前会長)

水族館からイルカが消える!?
～国際批判に揺れる現場～

出演者
山本 茂行 さん
(富山市ファミリーパーク 園長)

ジャンル
国際 社会問題 自然・科学

放送タグ
希少動物 生きもの

通英の関連する放送回

2014年5月26日 (月) 放送
追跡 アフリカゾウ密猟とテロ

2014年6月3日 (水) 放送
動物園クライシス

2014年11月12日 (水) 放送
追跡"中国サンゴ密漁団"

2015年4月13日 (月) 放送
ついに発見!? 地球外生命に挑む科学者たち

2015年4月15日 (水) 放送
食卓の魚高騰! 海の資源をどう守る

日本に150余りある動物園・水族館が揺れている。世界動物園水族館協会 (WAZA) が、和歌山県太地町のイルカ「追込み漁」が倫理規定に違反するとして、日本動物園水族館協会 (JAZA) の除名さえ持ち出した今回の騒ぎ。JAZAは、今後この漁によるイルカの入手はしないと約束して、除名を回避したが、この漁に頼ってきた日本の水族館が、今後どのようにイルカを確保するのか、見通しは立たず、JAZAからの脱退を示唆する水族館も出ている。イルカの繁殖は、専用プールを設けて細かく体調管理が必要であるために難しいとされてきた。一方、動物園はいち早く繁殖技術の開発に取り組んできたが、野生との交配がないと免疫力低下や血統の混乱などが起き、個体数を維持できない可能性も指摘されている。中には、規模を縮小する動物園も現れている。"生き物を学ぶ場"として親しまれてきた水族館・動物園に何が起きているのか。現場取材し、今後のあり方をさぐる。